

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

| | | |
|---|---------|--|
| 1 | 施設名 | 仙台市天文台 |
| 2 | 指定管理者 | 株式会社仙台天文サービス |
| 3 | 指定期間 | 平成20年7月1日から令和20年3月31日まで |
| 4 | 施設の利用状況 | 《利用者数》 平成28年度 179,436人 (前年度比 87.6%) 平成29年度 144,052人 (前年度比 80.3%) ※10年目展示・機器更新に伴い平成30年1～2月展示室休止, 3月全館休館 平成30年度 184,289人 (前年度比 127.9%) |
| | | 《事業》 天体観測の指導助言及びプラネタリウムによる天体现象の解説 天文科学に関する観測研究並びに資料の収集, 保管及び展示 天文科学の普及啓発に関する行事の開催及び刊行物の発行 学校理科教育における天体の観察実習の指導助言 等 |
| 5 | 収支の状況 | 《費用》 ・ 指定管理者に支払った費用 703,591千円(742,760千円) ※PFI事業のサービス購入費施設整備費相当分を含む ・ その他市が負担した費用 1,331千円(1,375千円) ()は前年度決算額 |
| | | 《収入》 ・ 観覧料収入 63,138千円(48,563千円) ・ 使用料収入 45千円(18千円) |
| 6 | 利用者の声 | 《実施状況》 施設内にアンケート用紙を設置し, 利用者の声を把握している。また, 統計的な分析を行い, 維持管理・運営業務の改善に活用している。 |

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

| 評価分野 | | 所見 | 評価 |
|------|------------|--|-------|
| I | 総則 | 施設の設置目的や役割を理解した上で, 市民の宇宙に関する興味・関心に応え, 深めることができるよう, 天文台・博物館としての質の向上に取り組んでいる。 | 33/33 |
| II | 施設の運営管理体制 | 各業務に必要とされる資格や専門的な知識を有する職員を適切に配置している。また, 事故防止や災害発生時の対応等について, ミーティング等において情報共有が図られている。また, スタッフサポーター(ボランティア)に対しても, スキルアップ等の支援が実施された。 | 29/29 |
| III | 施設・設備の維持管理 | 天文台利用者が施設を快適に利用できるよう, 建築・設備の保守, 清掃, 警備等を適切に行っている。また, 環境負荷の低減に資する取り組みを行っている。 | 24/24 |
| IV | サービスの質の向上 | 天文台利用者に宇宙を身近に感じてもらえるような様々な事業を展開しており, 地元出身のアーティスト等とのコラボレーションも行われている。 また, イベント情報や天体の観測成果等を天文台ウェブサイト随時掲載したほか, フェイスブック等のソーシャルメディアを有効に活用した効果的な広報が行われている。 | 28/28 |

| | | | |
|---|---------|---|------|
| V | 施設固有の基準 | 大型望遠鏡の更改作業が事業計画で定めた期日を超過する可能性が生じた際、市担当課への通知が遅れ、十分な事前協議を実施できなかった。一方、経営の健全性を確保するため、保険加入などリスク管理を適切に行うとともに、PFI事業の要求水準を達成するよう努力している。 | 9/10 |
|---|---------|---|------|

三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

| 評価すべき取組み | 評価すべき理由 |
|----------|---------|
| | |
| 加点評価 | |
| | — |

四 評価総括

| 《指定管理者（株式会社仙台天文サービス）による自己評価》 | |
|---|------|
| <p>仙台市天文台は、2018年1月から3月まで展示室の大規模リニューアルを実施、休館により入館者数が減少したものの、御来館の皆さまのお蔭もあり、2018年度の実入館者数は、184,289人(前年度144,052人)、観覧料等収入は63,183千円(前年度48,581千円)となった。具体的業務の中期計画は、2018年度も「宇宙を身近に」を理念に掲げ、「WE♡天文台」をビジョンに、引き続き市民に親しまれる施設、憩いの施設として、仙台市から示されている「要求水準」を着実に実行するとともに、社会教育・生涯学習施設としての価値を高める施設運営に取り組んだ。また、施設の使命である、市民が宇宙や天体を通して自然や科学について学べるようにするとの理念に関しては、設備やスタッフの充実とともに発展しており、地元教育研究機関との連携強化により活動の幅が広がっている。天文分野の教育をより専門的、効果的に行う場としての天文台は、社会教育施設としての利用が高まり天文学の普及啓発に引き続き寄与している。更に、各種イベントや毎週土曜日に開催する土佐台長によるトワイライトサロンを通して「にぎわいの創出」を意識した活動を行ってきた。ユーザーの声を聞き、そこから頂いた貴重なご意見、ご要望や改善を届けるツールとしての「来館者アンケート」ではお客さまからの「声」を基に、随時適切に対応しており、台内会議等で改善事項を共有、確認し、掲示板やWebサイトで公表している。2019年度も当施設の使命を忠実に遂行し、市民の方々や来館者のニーズに応える施設となるようスタッフ一丸となって取り組んでいきたい。</p> | |
| 《施設設置者（仙台市）による評価》 | 総合評価 |
| <p>利用者は依然として現施設開台前の想定を大きく上回っており、これは指定管理者が利用者のニーズを把握して様々な企画を展開するとともに、効果的に広報を行いながら利用者サービスの向上に努めている結果と評価できる。また、利用者からの意見や要望を職員会議で共有し、組織的に検討して策定した改善策を実施するという運営サイクルが出来上がっている。さらに、地元の大学等と連携した展示・イベントを実施することで指定管理者が提供するサービスの枠を広げており、天文台事業の一層の質の向上が期待される。</p> | A |

◎ 評価担当課（施設所管課）：教育局生涯学習部生涯学習課